

日時 令和8年2月25日(水) 15:00~16:00

場所 井ノ口小学校 3階 会議室

出席者 学識経験者

自治会連合会副会長

スクールコーディネーター

学校長

総括教諭(事務局)

## 1 開会

### 2 はじめに(学校長挨拶)

学校だより、令和8年度グランドデザインを資料として配布。

今年度も残り一か月となり、一年生の成長や五年生の準備の様子を見ると充実した学校生活を送れていることを改めて感じた。今年度は「みんなで楽しい学校を創ろう」を合言葉に、六年生だけががんばるのではなく、五年生が手伝ったり、意見を取り入れたりしながら学校全体で取り組んできた。

学習においては、ICTを活用した学び合いの活動を充実させてきた。ただ、それだけに頼らず自分の考えをノートに書いたり、体験的な学習に取り組んだりしてきた。

地域学習や運動会、ありがとうの会など子どもたちが直接いろいろな方に会いながらできる行事にも取り組んできた。

PTAの役員数の見直しや家庭や地域との連絡手段の変更など学校業務も少しずつ改善を図ってきた。

前半は学校評価を基に学校経営について意見交換をしていきたい。後半は次年度に向けて、学校経営の方向性について話させていただき、皆様からご意見をいただきたい。

### 3 学校評価について

(司会)

学校評価については、校長から説明をし、特に取り上げたいところを選んだので、それらを中心にご意見をいただき、話し合っていきたい。

(委員)

ICTを使った授業では子どもたちの間で格差が生まれるのではないかな。

(委員)

得意な分野はマニアックになっていくが、不得意なものは疎かになっていくのではないかな。辞書なども使わなくなってしまうのではないかな。

(委員)

ただ、タブレットを使って調べる時には的確にワードを入れて検索している。この言葉を調べるには何のワードを入力すればいいのかを想像しながら的確に活用している。

(委員)

地名だけは知っていても地図と結びつかない人もいる。算数などもそろばんができると算数などもできるようになる。なので、辞書やそろばんなど使い方を知った上でICTを使っていくことで両方の面ができるようになるのではないかな。

(委員)

授業力の向上については、学校でやった学習内容をお知らせしていくのが必要ではないか。  
いじめについてはいつでも SOS が出せる雰囲気づくりが一番大事だと思う。

地域との連携も一層進めてほしい。

あいさつについては、よくできているが、声が小さいと思う。

読書については、50%は確保しているので、大人も子どもと一緒に影響されるとよいと思う。

(委員)

読書の習慣は、低学年から促していく必要がある。六年生にボランティアが入っていたが、低学年のうちからボランティアの活用をしていくとよいのではないか。

(委員)

あいさつは、やはり元気がない。会っていると面識ができて防犯にもつながる。

いじめに関しては、先生にもう少し権限を与えたらよいのではないか。

(校長)

登校班の編成については、アンケートを取って、それぞれのご家庭の希望に合わせてやることになった。実際のところは今までと大きく変わらない集団登校班の編成となった。来年度やってみて、また考える必要があるのかもしれない。

#### 4 令和8年度学校経営について

(校長)

子どもたちが生き生きと過ごせるように、そしてそれぞれの学年が自分たちの力を発揮できるように行事や授業に取り組んでいきたい。

井ノロ小学校は異学年の仲が良く、そういう中で自分の生かし方や学び合いができると思うので、なかよし班での活動を続けていきたい。

挨拶は、児童会とも協力して、自分から相手に伝わるように大きな声でできるように取り組んでいきたい。

学習面では、学年ごとに工夫した自主学習の取り組みを増やしていきたい。また、個別への対応を充実させていきたい。

すぐーを活用した電子配信、外部人材・地域との連携、国際教室などそれらの充実を図っていきたい。

それらのことを踏まえ、来年度は集団から個への意識を少し高められるように「自分が光るみんなで輝く」をキャッチフレーズにしたいと考えている。

#### 5 その他

特になし

#### 6 閉会

・連絡事項

第4回 3月16日(月) 18:00～ 農村改善センター2階会議室